

大賀家住宅主屋他



指定区分	国登録有形文化財(建造物)
読みかた	おおがけじゅうたくおもやほか
所在地	岡山市北区今保
指定年月日	平成14年6月25日
解説	岡山市今保の足守川と笹ヶ瀬川の合流点に建つ、江戸時代の商家の住宅である。大賀家は畳表の取引を江戸と直接行っていた商家で、幕末には名字帯刀を許された。住宅は江戸時代後期から明治中期にかけての建物で構成されており、表門の内に主屋や離座敷、二階座敷、内蔵、土蔵、納屋、作業場などの建物が建ち並んでいる。また、主屋・離座敷の南側には、庭瀬藩別邸から移築されたと伝えられる、見事な庭園がある。屋敷の北側は旧今保港に隣接しており、かつては海へ直接舟が出入りしていた。
アクセス方法	
公開状況	公開されていません
設備	
備考	